



# ふれあい

## 狭山市社会福祉協議会法人化40周年



### これからも地域とともに！

第13回

### 全国校区・小地域福祉活動サミットINさやま 開催決定！

詳細は7ページで

#### 【おもな内容】

- 年頭のごあいさつ・第39回社会福祉大会 ..... 2
- 埼玉県社会福祉大会受賞者・狭山市の第2層づくり ..... 3
- 狭山市社協法人化40周年のあゆみ ..... 4・5
- 法人化40周年記念対談 ..... 6・7
- ボランティアセンター・  
くらし・しごと支援センターさやまからのお知らせ ..... 8
- 温かいまごころ ありがとうございました ..... 9
- ふれあいみ～つけた ..... 10・11
- こころちゃんがゆく・お知らせと生活に役立つ情報 ..... 12

**冬号**  
WINTER

No.163 平成31年1月10日 発行

狭山市社協

Face book 





## 年頭のごあいさつ

社会福祉法人 狭山市社会福祉協議会  
会 長 塩野谷 延夫

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えることと、お慶び申し上げます。

旧年中は、地域ふくし支援金（社協会員会費）や共同募金運動などへの温かいご支援と社会福祉協議会の各種事業への力強いご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、地域における福祉課題は、社会的孤立や経済的な困窮、虐待、ひきこもり、子育ての不安等、複雑で多様化しています。また近年は、地震、台風、豪雨など自然災害が多発し、改めて地域のつながりの重要性が認識されています。

こうした中、狭山市内においては10地区で、それぞれの地域の特性に合わせた住民主体による、

支え合う仕組み作りが展開され始めました。

社会福祉協議会では、身近な地域の諸課題を把握し、誰もが住み慣れた地域で、生き生きと共生できる社会を実現するため、市行政を始め地域の皆様と、より一層、連携・協働し、相談支援体制の充実等に取り組んでまいります。

おかげさまで、本年度、社会福祉協議会は法人化40周年を迎えることができました。これも、設立当初より、社会福祉協議会を育ててくださった多くの地域の皆様のご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

また、2020年1月には、全国規模のイベントである『全国校区・小地域福祉活動サミット』をここ狭山で開催することが決定いたしました。40周年を契機として、一層地域福祉の推進に取り組んでまいります。

結びに、皆様にとりましてこの一年が素晴らしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 第39回 社会福祉大会

社会福祉大会は、狭山市の社会福祉の発展に功績のあった個人、団体を顕彰するとともに、市内の社会福祉関係者等が一堂に集い、相互の連携を深め、福祉活動の更なる普及と充実を図ることを目的として開催いたします。

**日時：2月2日(土) 開会：13時(受付開始12時15分)**

**会場：狭山市市民会館 小ホール(車いすでの入場可)**

◆ 手話通訳、要約筆記あり

※ 申込み不要。直接ご来場ください。

※ なるべく公共交通機関をご利用ください。

### 第1部:式典

長年にわたり、社会福祉協議会の運営や事業に協力していただいた方々や、地域福祉に貢献のあった方々へ感謝を込めて表彰式を行います。



第38回表彰の様子

### 第2部:講演・実践報告

## 「持続可能な暮らしの足を 住民とともに考える」

講演者:河崎 民子氏

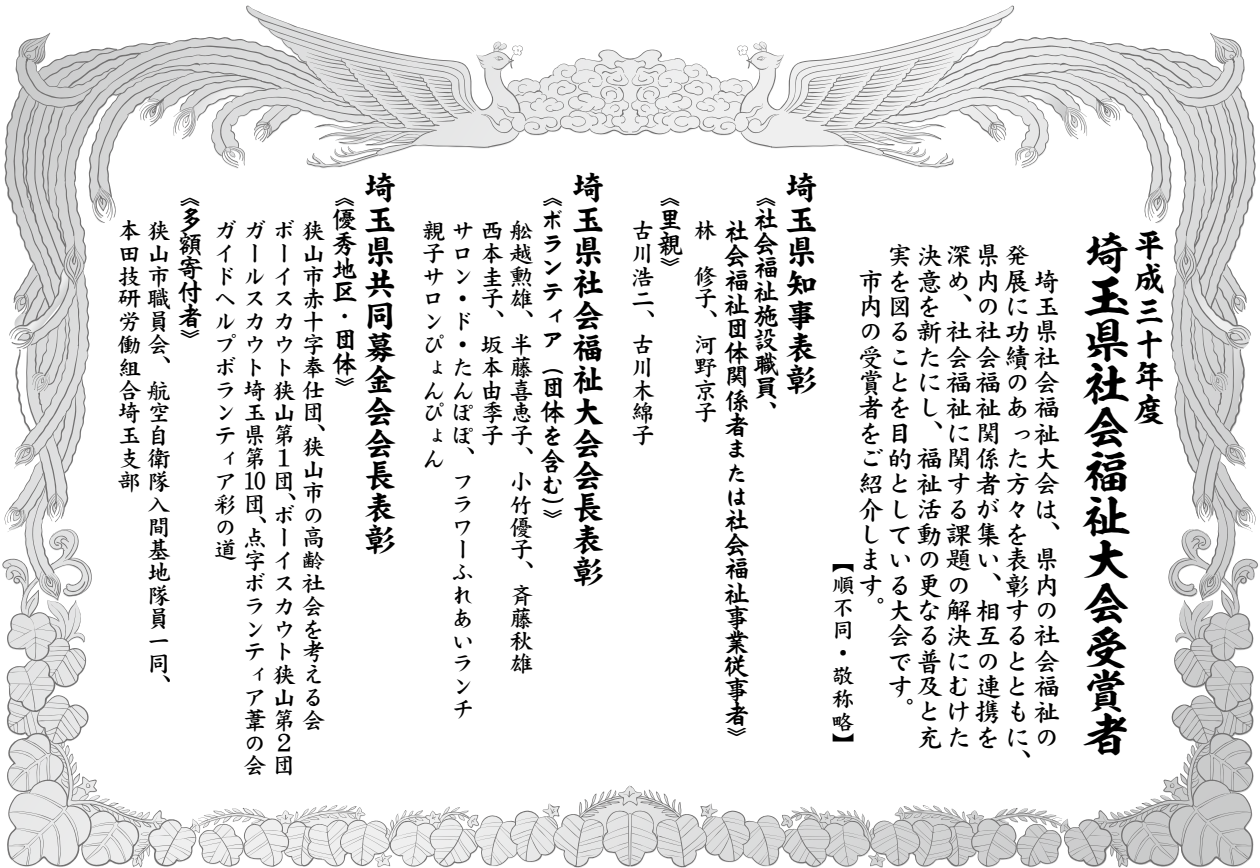
(NPO法人全国移動サービスネットワーク副理事長)

高齢化や核家族化が進む中で、外出するための手段を確保することに困難を抱える人々が全国で増え続けています。

暮らしの足となる制度や仕組み、公共交通に加えて何をどのように活用するか。リスクをどう捉え、住民に何が出来るか。先進事例もヒントに、暮らしの足を考える機会とします。



講師:河崎 民子氏



平成三十年度

### 埼玉県社会福祉大会受賞者

埼玉県社会福祉大会は、県内の社会福祉の発展に功績のあった方々を表彰するとともに、県内の社会福祉関係者が集い、相互の連携を深め、社会福祉に関する課題の解決にむけた決意を新たにし、福祉活動の更なる普及と充実に努めることを目的として行われる大会です。市内の受賞者をご紹介します。

【順不同・敬称略】

### 埼玉県知事表彰

《社会福祉施設職員、社会福祉団体関係者または社会福祉事業従事者》  
林 修子、河野京子

《里親》  
古川浩二、古川木綿子

### 埼玉県社会福祉大会会長表彰

《ボランティア（団体を含む）》  
舩越勲雄、半藤喜恵子、小竹優子、斉藤秋雄  
西本圭子、坂本由季子  
サロン・ド・たんぼぼ、フラワーふれあいランチ  
親子サロンびよんびよん

### 埼玉県共同募金会会長表彰

《優秀地区・団体》  
狭山市赤十字奉仕団、狭山市の高齢社会を考える会  
ボーイスカウト狭山第1団、ボーイスカウト狭山第2団  
ガールスカウト埼玉第10団、点字ボランティア葦の会  
ガイドヘルプボランティア彩の道  
《多額寄付者》  
狭山市職員会、航空自衛隊入間基地隊員一同、  
本田技研労働組合埼玉支部

### 狭山市の



## 第2層づくり(小地域福祉活動)がどんどん広がっています!

### 柏原地区 きのえね坂の家

柏原地区では10月から野菜直売が始まりました!地域で採れたての新鮮な野菜を破格のお値段で地域の皆様に提供しております。毎回ほとんどの野菜が売り切れるほどの大盛況です!

こうした活動をしていく中で、きのえね坂の家は子どもからお年寄りまで世代を問わず、様々な人が集まる地域の居場所になってきています。

どなたでも大歓迎です!皆様のお越しをお待ちしています!!



きのえね坂の家での野菜直売の様子

### きのえね坂の家

毎週火・木・土曜日 13時30分～16時30分  
(野菜直売 毎月第2・4火曜日 14時～16時30分)

### 入曽地区 サロン・デ・たっち

入曽地区では第1回「サロン・デ・たっち」を、9月21日(金)入曽地区の入間野神社社務所で開催しました。

この「サロン・デ・たっち」は、子どもからお年寄りまで地域の居場所づくりのために定期的に開催するもので、この日は降り続く雨にも関わらず、オープン式典に狭山市長を始め、多くの来賓の方々に出席いただきました。

現在4回開催しましたが、お年寄りや子連れのお母さん、□□ミヤチラシを見てくださった方、お手伝いを引き受けてくださる方など、様々な方が訪れてくれるようになりました。



サロン・デ・たっちでみんなでおしゃべり

### サロン・デ・たっち

毎月第3金曜日 10時～15時  
(参加費 100円)



お問合せ先

狭山市社会福祉協議会 狭山市入間川2-4-13 (狭山市社会福祉会館内)  
TEL:04-2954-0294 FAX:04-2954-4343

# 狭山市社協法人化40周年のあゆみ

平成30年度は、狭山市社会福祉協議会が法人化して40周年になります。  
狭山市社協のあゆみを、当時から事業に関わってきた当事者の話を交えながら振り返ってみましょう♪

## 狭山市社協 公式マスコットキャラクター **こころちゃん** について

お誕生日 5月16日(社協法人化記念日と同じ!)  
好きなもの 狭山茶、イチゴのケーキ、お花  
ひとこと 狭山市社協をPRしていきます!



誕生当初

誕生以来、日々  
成長し続けています♪

現在



平成20年 法人化30周年  
公式キャラクター  
「こころちゃん」を発表

30周年

平成21年  
災害ボランティアセンター  
立ち上げ訓練を開始



## 昭和63年4月 社会福祉会館管理受託

それより前、社協はどこにあったの?  
→最初は旧市役所庁舎(場所は今の中央図書館)の中がありました。  
その後、市役所庁舎が今の場所に移転。社協もしばらくは庁舎内にありましたが、昭和63年4月1日より、水道庁舎跡地にできた現在の社会福祉会館に移転しました。

## 昭和53年5月16日 狭山市社協法人化

支部社協7地区(入間川・入間・堀兼・奥富・柏原・水富・新狭山)設立。  
社協だよりを9月に創刊。当時は、B5版での発行でした。



START

昭和53年 5月16日  
狭山市社協法人化

昭和29年 任意団体として設立



社協だより創刊号

## 昭和56年 ボランティア連絡会発足

当時のボランティアを振り返って…  
福寿草会 西村さんのお話  
「昭和60年、社協のボランティア講座を修了した後、いくつかのグループを経て、この福寿草会に自分らしい居場所を見つけました。  
手芸を通じた高齢者支援のグループとして、国の緑綬褒章も頂き、仲間や活動を誇りに感じています。」



- 平成19年 (財)狭山ささえあい福祉公社と統合
- 平成18年 入間川支部の中から新たに富士見支部が設立
- 平成17年 個人ボランティア登録100名を突破
- 平成16年 ふれあいサロン支援事業開始
- 平成15年 社協だより「ふれあい」100号発行
- 平成14年 手話通訳者派遣事務所開設
- 平成11年 老人福祉センター管理受託



社協だより「ふれあい」100号

## 平成30年 社協法人化40周年 これまでもこれから先も地域とともに



そして  
未来へ…



- 平成30年 狭山台地域包括支援センター受託
- 平成29年 子ども食堂支援開始
- 平成28年 災害ボランティアセンターを設置
- 平成28年 生活支援体制整備事業を受託
- 平成27年 社協だより「ふれあい」150号発行
- 平成27年 生活困窮者自立支援相談窓口開設
- 平成24年 さやま成年後見センター開設
- 平成24年 入間川支部の中から新たに入間川東支部が設立

社協の支部は現在の10支部(入間川・入間川東・富士見・入間・堀兼・奥富・柏原・水富・新狭山・狭山台)になりました。  
※「入間支部」は平成21年に「入間東支部」に名称変更。

## 平成19年 (財)狭山ささえあい福祉公社と統合

ささえあい狭山、ファミリー・サポート・センターなどを開始。第1期地域福祉活動計画を策定。狭山市駅東口事務所を開設。

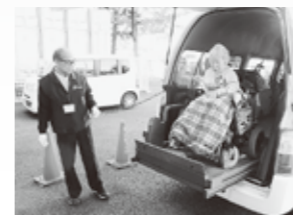
## 平成16年4月 ふれあいサロン支援事業開始

サロン風見どりの日 土淵さんのお話  
「加齢などにより、自由に出かけられなくなる時、近くに遠慮なく関わられる居場所が、誰にでもあることを願います。  
ふれあいサロンを続けるうちに、自分も皆と支え合い、活動が生きがいになっていることを感じます。」



## 平成9年 ハンディキャブ運行事業開始

第1号利用者 山川さんのお話  
「行き先は当初と変わってきましたが、社会参加のために利用しています。電動車いすユーザーの私には、たいへん有難いサービスです。  
ハンディキャブを利用して外出することで、他者との交流や新しい情報を得ることもできます。多くの必要な人に活用してもらいたいです。」



## 2020年 全国校区・小地域福祉活動 サミット IN さやま 開催予定



## 平成28年 台風9号による入間地区の浸水被害で、 災害ボランティアセンターを設置

入間支部 木藤さんのお話  
「災害ボランティアセンターが立ち上がるまでの間、民生委員、自治会役員などの皆様が集まって床上、床下浸水の被害が出たお宅の片付けをしていました。住民の力を合わせて最善の努力をしました。」



## 平成27年4月 生活困窮者自立支援相談窓口 (くらし・しごと支援センターさやま)を開設

狭山市地域福祉推進計画・支部社協別地域福祉活動計画を策定(平成27年～32年)。

## 平成14年 手話通訳者派遣事務所開設

利用者 川田さんのお話  
「派遣事務所ができる前は意思疎通ができないので病院に行くのも我慢することがありました。  
現在は、急病のときなど、手話通訳がいてくれると訳も分からず治療を始められたりすることがなく本当に助かります。」



# 「地域共生社会を創る～住民とともに歩む～」



写真左から（敬称略）

- 田淵 隆史 狭山市社会福祉協議会事務局次長
- 大内 輝夫 狭山市社会福祉協議会理事、  
狭山市ボランティア連絡会代表
- 塩野谷延夫 狭山市社会福祉協議会会長
- 木下 昇 狭山市社会福祉協議会柏原支部 支部長
- 影山 優子 西武文理大学サービス経営学部教授

田淵：まずは狭山市社会福祉協議会40年の歩みを振り返るところから始めたいと思います。

40年前は今とはだいぶ時代の背景が違っていたと考えられますが、当時は社協7支部でスタートし、ボランティアセンターがこれから立ち上がるような状況でした。昭和50年代の狭山の地域福祉はどのような状況だったのでしょうか。

木下：当時、父が民生委員をやっていて、20代の自分はその手伝いで、父を連れて地区の中を運転していました。民生委員は社協の事業で年末に3,000円くらいの慰問金というのを対象住民に配っていましたね。その頃から民生委員は社協とともに福祉活動をしていました。心配ごと相談を市役所内にあった社協で実施していました。

田淵：当時の社協事業を見ると、まだ福祉の制度が整っておらず、介護保険制度もまだなくて、もちろん困窮者への対応はあったかもしれないが、制度にないものは社協が多くやっていたことがわかります。

大内：その頃の「仲間とともに」（ボランティア連絡会の広報誌）を読むと、入間川地区内の民家を借りてボランティアの拠点を置き、ボランティアセンターとして「ふれあい広場」という大きな福祉イベントをやっていました。

会長：当時30代の現役で、仕事が終わった後に何回も「ふれあい広場」の打ち合わせのために社協に来た記憶があります。

田淵：狭山市社協は、県内でも早くから支部社協が在宅福祉に取り組み、会食会や配食サービスを行っていました。現在も続けている取組です。今はさらに、サロンなどニーズに合った取組がありますが、今の狭山市の地域福祉について思うことをお聞かせください。

大内：昔は30代、40代を中心に動いていたが、今は災害時のボランティアを除くと活動者は70代が主力です。70代の活動者は今は元気でやっていますが、80代になったらどうなるか心配です。次の世代にどうつないでいくかが課題。今、地域の中で住民主体の支え合う仕組み、第2層づくりが支部社協の10のエリアで、それぞれの地域に合った形でスタートし、自分たちにできることを探して始めています。この動きをつなげていきたい。私自身もこれまで市域の活動が中心でしたが、地元に関わる良いきっかけだと思っています。



会長：昔は福祉も街づくりも、地元の議員に動いてもらうこともありましたが、今は住民が中心になって動き、変わってきています。比較的古くからの地域は継続していますが、新興住宅地などは活動から抜けるところもあります。継続する地域は子どもから高齢者まで地域に人がすべてまとまって、例えば地域の運動会など一丸となって取り組んでいます。運動会の後の交流会も大人だけで行うのではなく、子どもも参加し、

どこの子どもも自治会ですべて面倒見のような地域。福祉関係の普段のまとまりが、いざというとき、災害時につながっていくため、普段のなんでもない時からつながっている地域であることが必要だと感じます。



影山：大学教員の立場から言うと、教員も学生も地元出身はほとんどおらず、たまに狭山出身の学生がいる程度です。そんな中、学生が狭山市に対して「我が街感」を持てるかということ、なかなか難しい状況だと思います。ボランティアをやりたくないとか嫌だとか言うのでは全くないのですが、学生自体がきっかけを見つけれない。学校にボランティア窓口を作るだけではなく、地域との橋渡しやきっかけづくりをしなければと思っています。

田淵：学生さんには駅前街頭募金活動もやっていただいています。楽しそうにやっているようでした。

影山：そうなんです。イベント的にやるのは楽しんでやる。最初は恥ずかしいが、街の人たちが声をかけてくれる。「がんばってね」「文理さんだね」と。それに気持ちもハイになって楽しくなる。そういうものはいいんですが、日常生活のボランティアや定期的な活動となるとなかなか難しいものなんです。

逆に、なぜ狭山市民はこんなに街のボランティアに熱いのか教えてほしい。

木下：それにはまず楽しくなくては。スタッフも楽しく、支えられる方も楽しく。今、若い人や現役の人にボランティアといってもできないだろうから、定年後の人に自分の趣味や得意分野を生かしてもらって、柏原の取組の「きのえね坂の家」でいえば、イルミネーションの飾りつけや家屋のちょっとした修理、庭の草取りなんかを趣味の延長線だと考えるのが良いかと思っています。これからの住民の自己実現の場にしたい。元気で楽しくやるボランティアとして続けたい。義務感でやるとぎくしゃくしたり、男性が参加しづらかったりします。女性はたくましくやっていけますが、男性は勇気がいらいます。だからこそ得意分野で楽しく。



影山：それを地域のために生かそうという発想が狭山にはありませんね。家族のためにというのであればわかりますが。

木下：例えば福祉委員の活動でいえば、それが自分の介護予防のためにもなります。少しでも自分の良い方向に。身近な地域に仲間がいる安心感もあります。義務感で支部長をやってもいいですが（笑）。支部長を終えてもこんな場があれば参加ができる楽しみがあります。

大内：私はボランティアをやって13年ですが、これがもし何もやっていないと今の自分はないと思います。ボランティアでいろんな人に出会ったことが財産。いろんな人と付き合っただけで多くのこ

とを教えてください。

影山：駅前の市民交流センターには学生がたくさん集まっています。一人で黙々と勉強して帰っていくようですが、彼らをなんとか動かしたら。

大内：あそこには高齢者もいます。席も時間も毎日決まっています、かなり長い時間を個々に過ごしています。

田淵：そういう方たちを地域活動に巻き込みたいが、難しいものでしょうか。

木下：単なる居場所にはなっているのですが、役割がない。

影山：若い人たちも集まるのが嫌いなわけではなく、昔よりきっかけをつくってあげることが必要。なんて過保護なのかと思われるかもしれないが、ここにこういうのがあるから行ってみるといいよ。と、強めに推すと行きます。

大内：今は高齢者が中心となって地域で活動していますが、中学生や高校生、大学生などが10の支部に入って、大人はバックアップをして、自分たちで考えたお祭りなどをやらせてみるとうとうでしょう。最初はやらせる。慣れてきたら自分たちでやる。

会長：昨年、子どもたちに自由に組み立てるチャレンジで「ピタゴラススイッチ」を作っていました。行政の企画でしたが5年生3クラス合同で盛り上がりました。

大内：大人はあくまでも黒子で。若者が自由に企画できる祭りなど。そうした地域を経験した若者が大人になってまた戻ってきたときに力になる可能性があります。

田淵：社協で福祉教育をやっていますが、すぐに何かカタチになるわけでも将来につながるきっかけを得てくれているのでは。

大内：第2層の代表をやることになった。高齢化の厳しい狭山台ではあるが、子どももいます。会長のプレーパークと協働し、子どもを巻き込んだ活動ができたと思います。高齢者ばかりでは広がらない。

木下：高齢者が若い人たちの活動のバックアップができればと思う。

大内：各地域に青少年育成地域会議があります。そこと連動できないか。大人がうまく仕掛けを作って活動に結び付けられれば。

影山：学生の地域活動には、ネックがあると思っています。今の学生は昔と違って授業を休めない。就職活動の開始も3年生。空き時間もありませんが、授業の合間の2時間に地域に出ようと思っても、地元民でないので足がなく、市バスの廃線もあり交通が不便。何回か乗り換えていくと往復で空き時間の2時間が終わってしまう。活動の時間が無くなります。活動地へ向かえないのがネック。気持ちの問題ではなく、



大内：例えば狭山台で活動をやってほしいと思えば、狭山台の住民が車を出しても良いと思います。できることはまずはやってみよう。私は断らない活動をモットーにしています。その方が面白い。

田淵：ここまで狭山の現状について語っていただきましたが、これからは今後の社協について、課題や期待などお聞かせください。

木下：最近感じることは、第2層の関係で各地区の担当職員が増えて、これまでよりも地域に出ている、とても良い動きになってきたと感じます。そういう意味でいえば、もっとそんな地域に出る職員を増やすとか、出られるようにするとかしたら良いと思います。

田淵：社協としては、地域との関わりはあるが、相談するところである部分が弱く、身近な相談できる場所と位置付けていただきたいと考えます。

木下：相談と構えるより、社協は地域の人と一緒に動くという認識であり、そうすれば自然と相談を受けたり情報が入ってきたりするはず。そこで住民とともに考え動き解決につなげる役割であるべき。

大内：まだ社協のことをよく知らない人もいて、これは大きな問題。さらに支部社協のことは知らない。そんなのあるんですか?と問われます。社協のことは知っても身近な支部社協は知らない。

会長：社協自体のことも、自治会長をやったり、民生委員をやったりするとわかるんだが。

大内：第2層ができて、かなり社協と住民が近くなってきていて、支部単位で第2層エリアを配置したことは良かったと感じます。社協は行政と違い、住民と一緒に自由に動ける強みを生かしたい。

木下：もっとも住民とともに動く機会が増えてくると良いと思います。そうすることで社協のことも知ってもらうことができる。

大内：経営的なこともあると思うが、仕事の量と職員の数が見合っているのか気になります。どんどん社協の業務が広がり、もっと人的に多くても良いのかとも思うが。

田淵：まとめに、2020年に狭山で開催する「全国校区・小地域福祉活動サミット」に向けてお考えを聞かせて下さい。

大内：サミットも市内の大学や高校に働きかけて、せっかくの機会なのだから若い人たちが参加できると良いと感じます。今の感じだと、60代70代が中心となってやりそうですが、活動者が中心で進めていくのでその年代になってしまうのだろうが。狭山の大学に通っている学生のやっていることを知ってもらうこともできる。市民と大学が一緒になってやってくれるのが良いと思います。

会長：サミット開催の効果として、これまで福祉に関心を持たなかった人たちにも関心を持つきっかけになるのではないのでしょうか。

木下：昨年初めて日光サミットに行き、活動内容は何でもありだと柔軟性を学びました。ちょうど、第2層の取組を皆で考えていた時期でとても参考にできて、今に生かしています。良い刺激となり、地元の活動が増えるのではないかと感じます。

大内：新たな人材の掘り起こしができれば。

影山：無理に動員をかけて…というのではなくても学生にも発信したいことはあると思うので、うまく関われば良いですね。

会長：狭山市内の事例はもとより、県内外の素晴らしい取組もたくさん発表されます。

田淵：狭山でこれだけ大きな企画のものを開催します。皆様と協力して成功し、得るものがたくさんあることが目標です。

大内：社協や企画運営委員は大変でしょうが、やりがいがあり、必ず狭山の自信になるものと考えます。

木下：今の活動を生かして、とにかく楽しく、一丸となって成功につなげたいですね。

田淵：50周年までの次の10年への一步を踏み出すサミットを、住民の皆様とともに成功させたいと改めて実感しました。ありがとうございました。

## 全国校区・小地域 福祉活動サミットとは!?



学校区や自治会（小地域）などで、地域住民が主体となって実践されている様々な福祉活動の取組を、実践者同士の交流や、つながりの場を通して、互いの活動を深め合い活性化を目的で開かれる交流会です。

第13回目となる2020年は、狭山市で開催されます。

『全国校区・小地域福祉活動サミット IN さやま』

【日程】 2020年1月25日(土)～26日(日)

【会場】 狭山市市民会館大ホール(メイン会場)

# 参加者大募集

詳しくはお問合せください

## ボランティア募集

### 「大人の学校」講師ボランティア

【日 時】月曜日～土曜日のいずれか1日  
13時45分～15時30分(休憩30分あり)  
【場 所】特養・デイサービス オリーブ(上赤坂)  
【内 容】小学校1～2年程度の簡単な国語・算数などを施設利用者に教える(テキストあり)

### 車いす外出付き添い支援ボランティア

【日 時】火曜日・木曜日など10時30分～15時  
(取り組める日のみで可)  
【場 所】大樹の家(狭山)  
【内 容】身体障がい者施設でのお出かけのお手伝い(行き先は、ランチ、観光など、多岐にわたる)

## 彩の国ボランティア体験プログラム(冬)

学生からシニアまで、誰もが気軽に参加できるボランティア体験メニューをご用意しました!

市内福祉施設や児童施設、環境整備、イベントなど多種多様な活動先があります。この機会にボランティア体験をしてみませんか。

【体験期間】12月1日(土)～2月28日(木)

【体験内容】児童・高齢者・障がい者施設での手伝い、公園内の清掃 など  
※メニュー表は狭山市社会福祉会館、社協ホームページなどで入手できます。

【参加費】無料(活動先により実費負担あり)

### 説明会(オリエンテーション)

【日 時】平日9時～17時の間  
※要予約・日程及び時間帯は応相談

【場 所】狭山市社会福祉会館

【内 容】ボランティア活動の心構えや持ち物について

【申込み】前日までにボランティアセンターへご連絡ください。

お申込み先・お問合せ先  
狭山市ボランティアセンター

TEL:04-2954-0294 FAX:04-2954-4343  
E-mail:chiiki@sayama-shakyou.or.jp

## くらし・しごと支援センターさやまからのお知らせ

### 生活困窮者自立支援制度

生活に困っている方の相談をお伺いし、困りごとを解決できるよう一緒にお手伝いします。

#### <支援の流れ>

①困りごとの確認(最初の面接)

②担当の相談支援員と一緒に  
支援プランの作成

③支援プランに基づいたサポート

⇒ 解決へ



### ご寄付のお礼とお願い

当センターでは、食料品等のご寄付を募集し、必要としている方にお渡しする支援を行っています。

おかげさまで、今年度4月から9月までは126件の方に支援をすることができました。皆様の温かいご協力、誠にありがとうございました。

引き続き、米やレトルト食品、調味料等の食料品(賞味期限、消費期限が切れていないもの。生ものや冷凍冷蔵が必要なものは除く。)や、未使用のテレホンカード、切手などのご寄付を募集しています。ご協力をお願いいたします。



お申込み先・お問合せ先

くらし・しごと支援センターさやま 狭山市富士見1-1-11(狭山市駅東口事務所内)  
TEL:04-2956-7669 FAX:04-2956-7668 E-mail:higashiguchi@sayama-shakyou.or.jp

## 高校進学支援金給付事業

【対象】市内公立中学校に通う中学3年生のうち、修学の意欲が旺盛で、高校進学が決定したが、家庭の経済的困窮等により入学準備が十分にできない恐れのある生徒。学校長からの推薦を得られる生徒。(生活保護受給世帯は除く。)

【申込期間】2月1日(金)～3月15日(金)

【給付額】1名あたり 30,000円  
(1校あたりの人数制限有り)

お申込み先・お問合せ先

狭山市駅東口事務所 狭山市富士見1-1-11  
TEL:04-2956-7665 FAX:04-2956-7668

# 温かいまごころありがとうございました

## 【寄付金】

平成30年9月1日～平成30年11月30日(順不同・敬称略)

NPO法人狭山市の高齢社会を考える会	3,000円
十人十色の会	12,557円
狭山市社会福祉協議会職員有志一同	20,456円
男性サークル遊悠会	3,000円
狭山市社会福祉協議会入間川東支部	20,000円
奥富バラの会	10,000円
チョコラの会	10,000円
金子美洋子	10,000円
匿名(24件)	234,345円

## 【物品寄付】

日原 志真子	紙おむつ
田鍋 義秋	
朝日航洋(株)	古切手
(株)エフ・イー・シー	
大仲 馥子	
斉藤 直美	
本田技研労働組合埼玉支部	
熊田電気工事(株)	
三村電機工業(株)	

## 社協賛助会員の皆様のご紹介 平成30年9月1日～平成30年11月30日現在(敬称略・五十音順)

あらゆる身障児者を守る会	オリエント防災工業(株)	家族倶楽部
(株)工進精工所	(有)コックス	狭山バス運輸(有)
サンワ保全(株)	清水 重由	田口土木(株)
中央労働金庫狭山支店	(有)トータルフォトスタジオさいとう	ハピネス狭山
ぼしえっと	(有)ミネ五十子印刷	

※自治会をとおしてご協力いただいている方につきましては、回収・集計等の都合により、掲載時期が異なる場合があります。

## 平成30年度 地域ふくし支援金(会員会費)の報告

ご協力ありがとうございました



6月から会員募集を自治会等のご協力により進めてまいりました。

市民の皆様、各団体や企業の皆様の温かいご理解とご賛同をいただき、厚くお礼申し上げます。

皆様から寄せられた会費は、市内の様々な福祉活動の財源として使われています。

【平成30年度 会員会費実績状況】 平成30年11月30日現在

地区	件数	金額(円)
入間川東	693	522,500
入間川	913	602,500
富士見	629	459,500
入 曽	1,436	1,048,500
堀 兼	930	681,000
奥 富	807	517,500
柏 原	559	530,500
水 富	1,446	1,038,000
新狭山	161	241,000
狭山台	490	370,500
その他	277	253,000
合計	8,341	6,264,500

## 平成30年度 狭山市登録手話通訳者認定試験について

【日 時】 3月2日(土) 9時～12時30分

(終了時間は受験人数によって異なります。ご了承ください。)

【場 所】 狭山市社会福祉会館 ※問合せ先とは異なります。ご注意ください。

【受験資格】 狭山市内在住・在勤の平成31年4月1日現在20歳以上で、以下のいずれかに該当する者。

- ①狭山市手話通訳者養成講習会修了、もしくはそれと同程度の知識と技術を有する方
  - ②手話通訳士または都道府県の登録手話通訳者、手話通訳者全国統一試験の合格者
- ※②の方は試験の一部を免除

【縮 切】 2月15日(金)

【申込方法】 申込書(社会福祉協議会狭山市駅東口事務所に用意、ホームページからも取得可)に、必要事項を記入の上、同事務所へ直接持参または郵送(2月15日必着)。

\*受験料は無料です



お問合せ先

狭山市手話通訳者派遣事務所 狭山市富士見1-1-11(狭山市駅東口事務所内)

TEL:04-2003-3742 FAX:04-2003-3746 E-mail:shuwa@sayama-shakyou.or.jp



## 「とんからり」 西武狭山台ハイツ

狭山台支部通信員 矢野 恭子  
小池 律子

「とんからり」は毎月第1金曜日に西武狭山台ハイツの集会場で開催されています。ハイツの住人ならば誰でも参加自由で、とてもオープンな会です。『敬老会ではない隣人の会であり、楽しく旺盛な好奇心を持って、たくさんのことにチャレンジする』という方針のもと、平成21年に発足した会は10年目を迎えることができました。

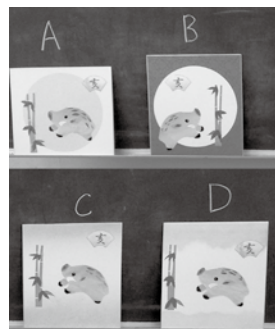
今回は10月の例会を訪問しました。今回の出席は新人の方1人を含め17人の参加でした。毎回趣向を凝らした会で、今回は講師の指導の下、ちぎり絵に挑戦です。4つのテーブルに分かれ、みんなで協力して作業開始です。来年の干支である亥が題材です。和紙をちぎり、色紙に貼っていきます。みんな和気あいあいと進めていました。約1時間

で完成です。

「初めてでとても楽しかった」「目の位置だけで顔が違う」「チームワークが一番」などの感想がありました。若々しく楽しい会でした。



貼るのも難しい、慎重に



お見事！それぞれのテーブルの完成品

## 「狭山市商工祭」に出店して

入間川東支部通信員 庄司 米子  
岩垂 秋子

狭山市商工祭が今年で40回目を迎えました。

狭山市商工祭は、2011年に狭山市駅が開発されてからは西口市民広場で行われるようになりました。

社協入間川東支部は、地元として、商工祭を通じてより多くの皆様に社協や民生委員の存在を知っていただきたいという思いから出店することになり、今年で出店4回目を迎えます。

この日は、秋の長雨から解放され、久々の晴天で、オープニングから大勢の方が訪れ、大変な賑わいでした。

焼きそば、おにぎり、かき氷、飲み物の販売と、社協職員による赤い羽根募金への協力もお願いし

ました。募金では、お礼のバルーンアートのプレゼントが子どもたちに大人気。

また、季節外れのかき氷も好評を得て、必死の対応で大忙しながらも楽しいひと時でした。



焼きそば、おにぎりは早いうちに完売



子どもたちもバルーンアートに大行列

## さやま福祉の川柳

## たくさんのご応募ありがとうございました！

社協だより162号で募集しました、「さやま福祉の川柳」に590句のご応募がありました。皆様ありがとうございました。厳正なる審査の結果を発表いたします！

【特選】 狭山市笹井 斉藤 明男 様

笑顔みせ 笑顔を貰う ボランティア

【優秀賞】

また来るに 無理はするなと 老いた母

鹿児島市 石塚 勝雄 様

「よっ」と「じゃ」それだけ言って 帰る孫

吹田市 馬場 和義 様

手を貸した 明日は私 手を借りる

坂戸市(狭山市出身) 大須 祐子 様

地域から「いいね!」をもらう 助け合い

春日部市 中野 弘樹 様

選ばれた作品は、社協オリジナルグッズや社会福祉大会で使用させていただきます。



# ふれあいみつけた

## 放課後子ども教室 「富士見小あそび広場ふじみっ子」

富士見支部通信員 塚本まり子  
葛西 治

富士見小学校の「あそび広場ふじみっ子」は放課後の子どもの居場所として平成29年からスタートしました。月1回月曜日に、地域の人たちによるボランティアと運営スタッフが見守る中、子どもたちは学年を超えて校庭や体育館で思いっきり遊びます。

9月のこの日は、教室で敬老の日に向けてのお祝いカードを作りました。小学校体育館で行われる敬老祝会の卓上に飾るものです。

書き終わると体育館へ移動し、ふじみっ子全員参加の障害物競争の始まりです。雨のこの日に参加したのは61人。波打つスネークロープを飛び、次に幾段もの幅跳びロープを跳び越え室内いっぱい駆け回ります。

そのあとは自由遊びの時間です。バドミントン、縄

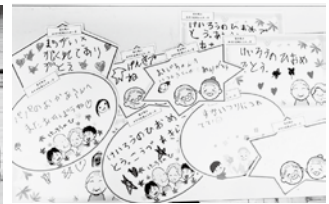
跳び、けん玉など大人も交じっての遊びをしました。夕方になり、子どもたちは迎えが来た順に帰宅しました。

「子ども教室」は文部科学省の管轄で、狭山市は教育委員会が「地域子ども教室連絡会Tie(タイ)」へ事業を委託し、運営しています。

※Tie:狭山市の子ども全体を考えるネットワーク。



学年を超えて元気いっぱい遊びます



敬老の日のお祝いカードを書きました

## 新狭山地区体育祭

新狭山支部通信員 町田 喜由  
内部 経一

10月7日(日)、新狭山地区体育祭が新狭山の中原(あじさい)公園で開催されました。台風25号の接近で天候が心配されましたが、この日は好天に恵まれ、無事に開催することができました。

学校の校庭に比べると狭いため、競技が限られていましたが、子ども会を中心とした親子ゲームなどを多く取り入れ、中でも徒競走、宝探しは小学校就学前の幼児も参加し、会場にいる保護者たちも応援に声を張り上げていました。また、昨年より取り入れた「担架でGO」は小学生5人一組で棒と毛布を使い応急担架を作り、それに一人を寝かせ残りの4人で搬送するゲームです。担架作りも

簡単で子どもたちもすぐに覚えることができ、貴重な体験になったと思います。

他の競技も自由参加でしたので、多くの人が楽しい一日を過ごすことができました。



徒競走で一瞬懸命走る子どもたち



担架でGOでも真剣です



## リフォーム専門

水漏れからキッチン・お風呂・屋根・外壁改修工事  
埼玉県知事認可(般-26)第55069号



株式会社 日建ライフ

狭山市富士見1-15-22(ヤマダ電機狭山富士見店前)  
何かと頼れる住まいのコール

☎ 2958-9090

〈HPの出来る方・各職人さん募集中〉日建ライフQ

## 遺言・相続 無料相談会

狭山市市民会館 1/16(水), 23(水)  
狭山市市民交流センター(駅直結) 1/21(月)



行政書士 たいけい事務所  
特定行政書士 堀江 誠

いま、お困りのことはありませんか?  
遺言・相続でお悩みの方、お気軽にご相談下さい!! 秘密厳守で対応いたします。

※ 50分/回の事前予約制です。(先着受付順)  
※ ご予約はお早めに下記フリーダイヤルまで。

0120-966-954

## 「豪雨災害職員派遣 報告」



平成30年豪雨災害による被災地支援のため、広島県の安芸区災害ボランティアセンターへ、9月7日から9月13日まで狭山市社協から職員が1名派遣されました。

これは、全国の社協ネットワークを通じた応援要請に基づくもので、関東ブロックの一員として地域のニーズ調査やボランティアの現場についてのオペレーションなど支援活動を行いました。

ボランティアセンターや現場では地域の方々、町内会や自治会の方々が多方面で活躍されており、地域でのつながり、助け合いや支え合いの重要性を改めて感じました。

狭山市社協も災害時に助け合い、支え合えるまちづくりを目指して地域の皆様と協働していきたいと思えます。



## 社会福祉協議会より、お知らせと生活に役立つ情報

### 狭山市社会福祉会館より ☎2954-0294

#### ●法律相談

弁護士による相談を毎月第3金曜日に実施しています。

時間 14時～16時 ※要予約・無料

場所 狭山市社会福祉会館

#### ●広報番組「ふれあいこころちゃん」 放送のお知らせ

狭山市社会福祉協議会の事業や地域福祉活動などをお知らせします。

狭山ケーブルテレビ

「いどばた生活情報館」内 5分間

日時 1月25日(金)～1月31日(木)  
6時40分、12時10分、15時10分、  
19時10分、23時10分の5回

備考 手話通訳あり

#### ●紙おむつを配布します

市民の皆様から寄付によりいただいた紙おむつを社協会員に配布いたします。

手続き ①希望の紙おむつの種類をお伝えください。  
例)テープ式のLサイズ、尿取りパットなど  
②お名前、来所する日時をお伝えください。  
③狭山市社会福祉会館までお越しください。

注意事項 ・希望の種類やサイズが無い場合もあります。  
・メーカーの指定はできません。  
・配送などのサービスは行っておりません。

### 狭山市駅東口事務所より ☎2956-7665

#### ●権利擁護法律相談「あんしん さやま」

判断能力が不十分な方やその関係者に対して、弁護士が問題整理や助言などの支援をします。

日時 2月1日(金)、3月1日(金)、4月5日(金)

10時～12時 ※要予約・無料

場所 狭山市駅東口事務所 相談室

#### ●後見支援員募集

本会が法人として成年後見人となり、認知症高齢者、知的障がい者や精神障がい者の後見活動をしています。現在、本会が行う後見活動を手伝っていただける方を募集しています。

詳しくはお問合せいただくか、狭山市社会福祉会館、狭山市駅東口事務所にあります募集要項をご参照ください。

なお、募集要項はホームページにも掲載しています。

### 老人福祉センター不老荘より ☎2957-3502

#### ●健康講座

埼玉石心会病院の先生をお招きして、老人福祉センター利用者を対象とした健康講座を開催します。

日時 1月24日(木) 14時～15時

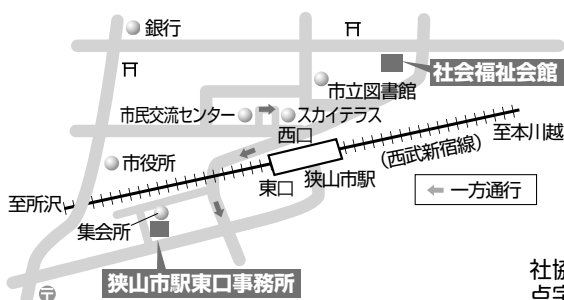
内容 ①カンタンなホクロと皮膚がんの見分け方  
(先着15名には無料チェックを実施)  
②転ばない足腰に!～毎日筋力体操～

対象者 60歳以上

講師 埼玉石心会病院 形成外科部長 工藤 聡 先生  
看護部副部長 荒木妙子 先生

※予約不要・無料

日程などの変更の可能性もありますので、詳細やお申込みは…  
狭山市社会福祉会館、狭山市駅東口事務所などへお問合せください。



社会福祉法人  
発行 **狭山市社会福祉協議会**

〒350-1305 狭山市入間川2-4-13(狭山市社会福祉会館内)

TEL. 04(2954)0294 FAX. 04(2954)4343

E-mail daihyou@sayama-shakyou.or.jp

ホームページ <http://www.sayama-shakyou.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/sayama.shakyo/>

社協より「ふれあい」は、自治会などの協力を得て各戸に配布されております。  
点字版、デジ版もボランティアにより作成しています。